

SlowとFastの地震の理解に迫るA01班-A02班合同研究集会

日 時：令和5年11月27日（月），11月28日（火）
 場 所：海洋研究開発機構 高知コア研究所（高知県南国市）
 世話人：山口飛鳥，福地里菜，奥田花也，濱田洋平，大坪 誠
 発表時間：発表20分＋質疑応答10分

Nov. 27	名前	所属	タイトル
1 10:00-10:30	廣瀬文洋	海洋研究開発機構高知コア研究所	高知コアセンター概要＋高知コア研究所の摩擦試験機でできることできないこと
2 10:30-11:00	Lu Wang	東北大学流体科学研究所	Velocity dependence of rate-and-state friction in granular fault gouge
3 11:00-11:30	山口哲生	東京大学大学院農学生命科学研究科	破碎を伴う粉体摩擦のモデリング
4 11:30-12:00	Chengrui Chang	東京大学	The Rheological Properties of a Two-phase Granular System
Lunch			
6 13:00-15:00	高知コア研ツアー（摩擦実験装置見学，砂箱実験見学，コアレポジトリの紹介など）		
Break			
7 15:30-17:00	Bussiness Meeting & 若手イベント 懇親会 at 高知市内		
Nov. 28	名前	所属	タイトル
8 9:15-9:45	西本桃子	日本女子大学	ユタ州セビア断層における正断層先端部のダメージゾーンの幾何学と構造の解析
5 9:45-10:15	山口飛鳥	東京大学大気海洋研究所	μXRDによる摩擦実験試料の配向性評価の試み
9 10:15-10:45	澤山和貴	京都大学	断層の透水性と岩石物性
Break			
10 11:00-11:30	橋本善孝	高知大学	マントルウェッジ流体のプレート境界に沿った移流：牟岐メランジュネットワーク脈の酸素炭素同位体比と形成温度に基づいて
11 11:30-12:00	山本朱音	日本大学	沖縄トラフ南部を対象とした、背弧海盆における海洋底拡大前の断層活動
Lunch			
12 13:00-13:30	木村 学	海洋研究開発機構	Frontal Thrust ramp-up and slow Earthquakes due to Underthrust of Basement high Relief in the off-Kumano Nankai Trough
13 13:30-14:00	白石和也	海洋研究開発機構	南海トラフ足摺沖における地下構造の特徴
14 14:00-14:30	大坪 誠	産業技術総合研究所	海溝近傍の付加体は弾性エネルギーを蓄積できるのか？
15 14:30-15:00	奥田花也	海洋研究開発機構高知コア研究所	海溝から地震発生帯までの物質変化と摩擦特性変化
Break			
16 15:15-15:45	新井隆太	海洋研究開発機構	日向灘Tremor-to-the-trenchエリアのプレート境界構造
17 15:45-16:15	福地里菜	鳴門教育大学	日向灘における泥火山掘削提案
18 16:15-16:45	総合討論		